

労働の観点から見た少子化問題

MRI 三菱総合研究所

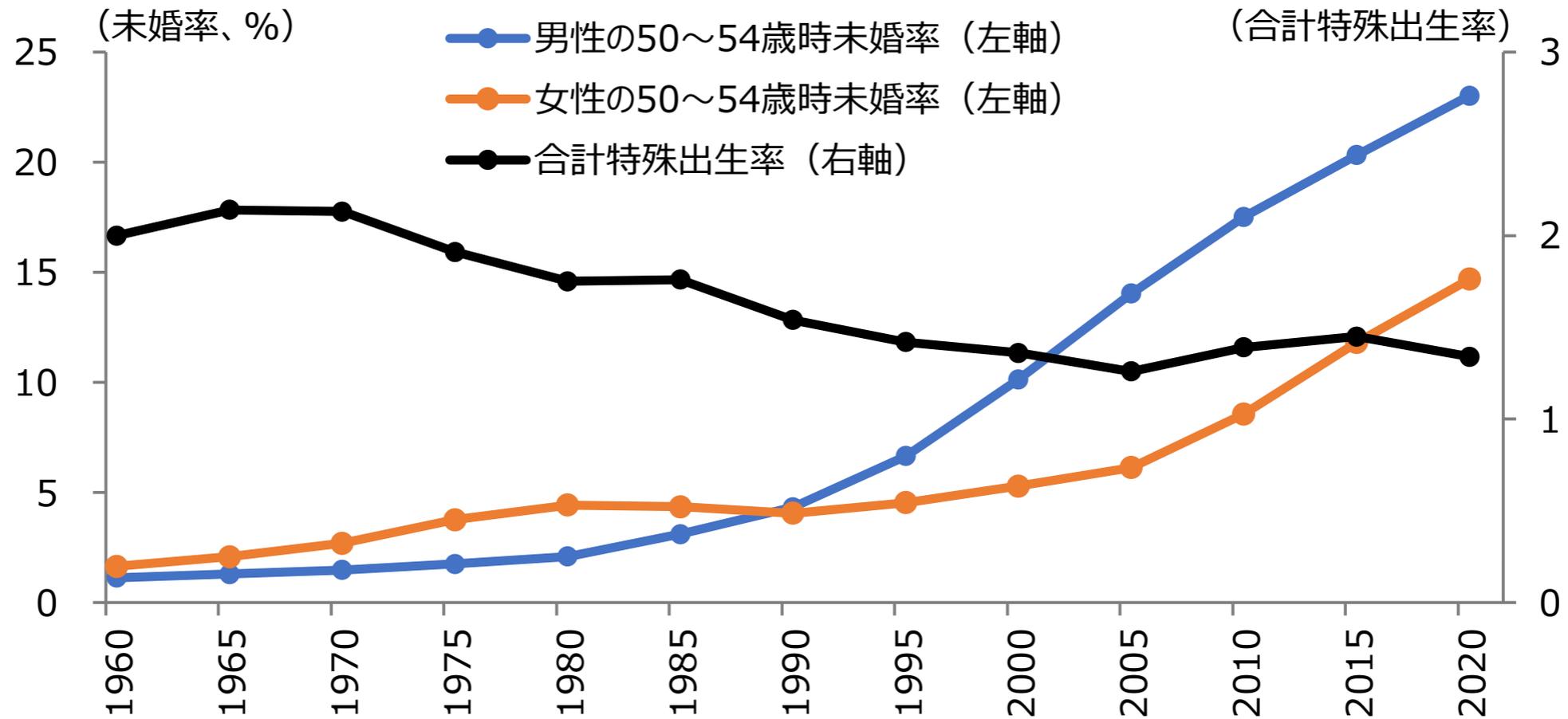
株式会社 三菱総合研究所
研究理事
武田 洋子

2022年12月13日

1. イントロダクション

男女ともに未婚率が上昇傾向

50～54歳時未婚率・合計特殊出生率

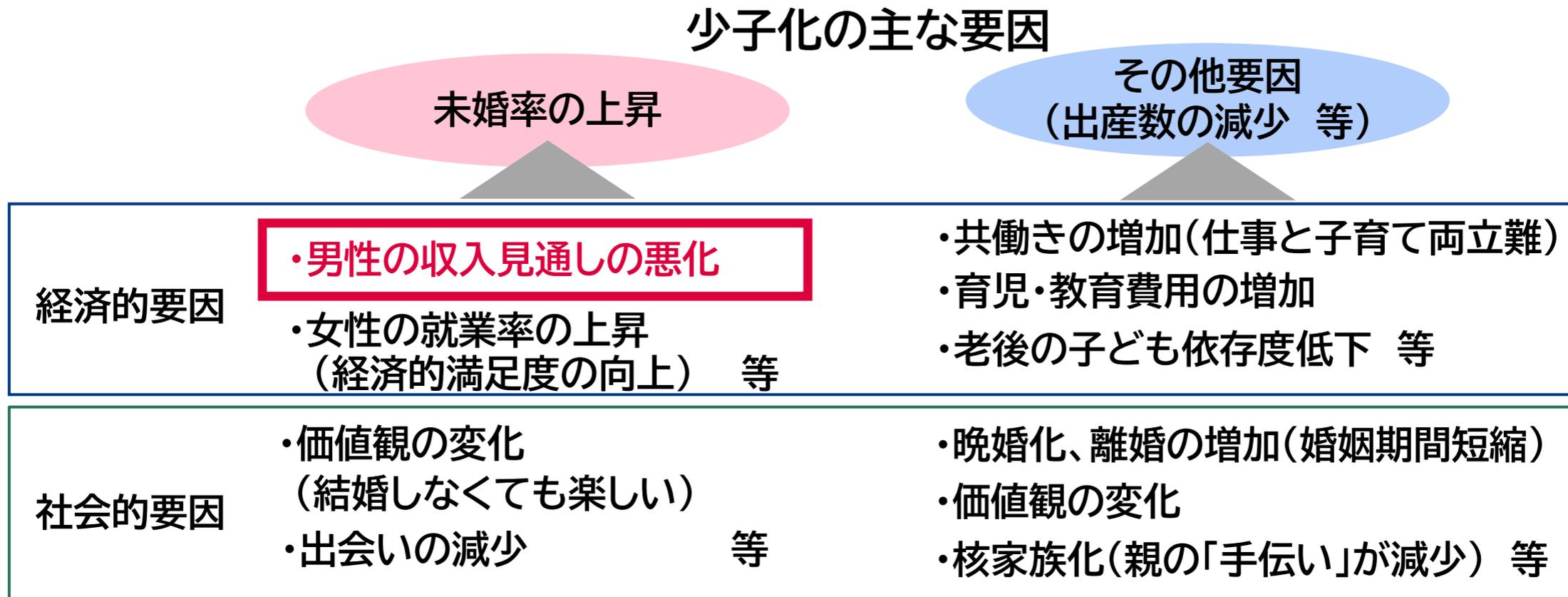


出所:国勢調査、厚生労働省調査より三菱総合研究所作成

2. 課題提起

未婚率上昇の背景にある経済的要因に着目

- 背景には、経済的要因と社会的要因がある
- 今回は「**男性の収入見通しの悪化**」に着目



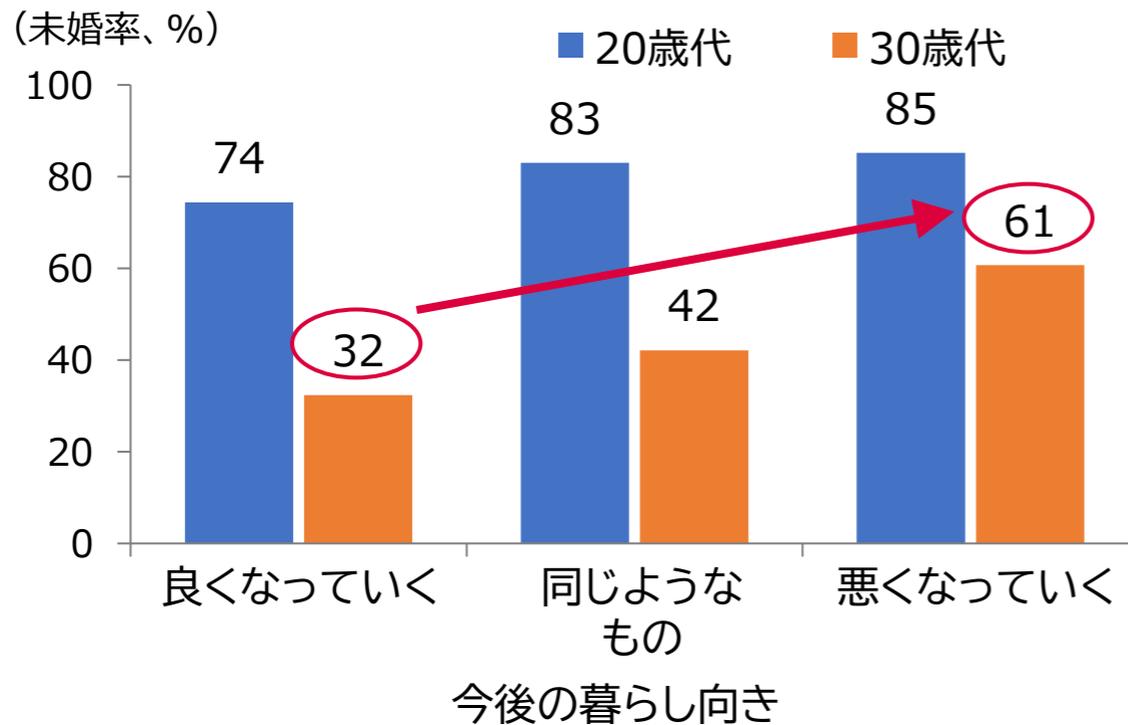
出所:内閣府「令和4年版少子化社会対策白書」を参考に三菱総合研究所作成

2. 課題提起

将来見通しが暗いと感じる人は未婚率が高い

- 生活の将来見通しは未婚率に影響 (20歳代での差は少ないが、30歳代で大きく開く)

今後の暮らし向きと未婚率(男性)



今後の暮らし向きについての回答割合

- 20歳代:
 - 良くなっていく 20%
 - 同じようなもの 60%
 - 悪くなっていく 20%
- 30歳代:
 - 良くなっていく 17%
 - 同じようなもの 60%
 - 悪くなっていく 23%

注:男性のみ。20歳代N=2,281人、30歳代N=2,681人。

出所:三菱総合研究所「生活者市場予測システム(mif)」アンケート調査(2022年6月調査)

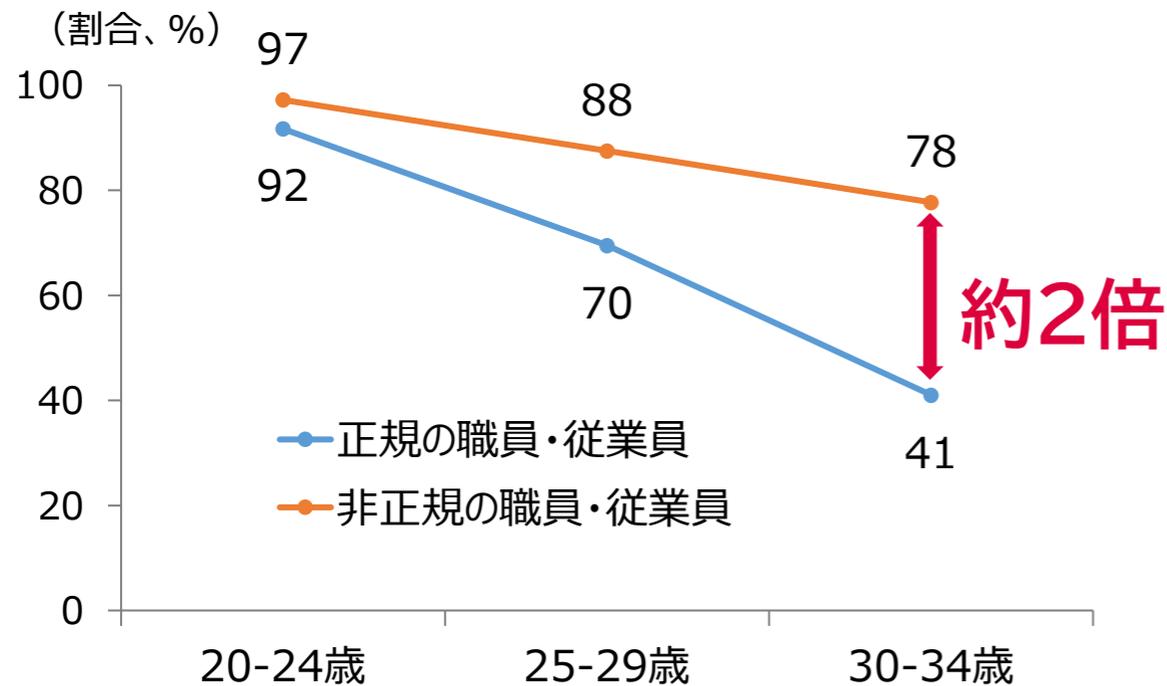
2. 課題提起

非正規労働者の未婚率は非常に高い

- 非正規労働者の未婚率は正規の**約2倍**
- 非正規労働者は**賃金が伸びにくい**: 25~35歳男性労働者のうち、**非正規割合は約14%***

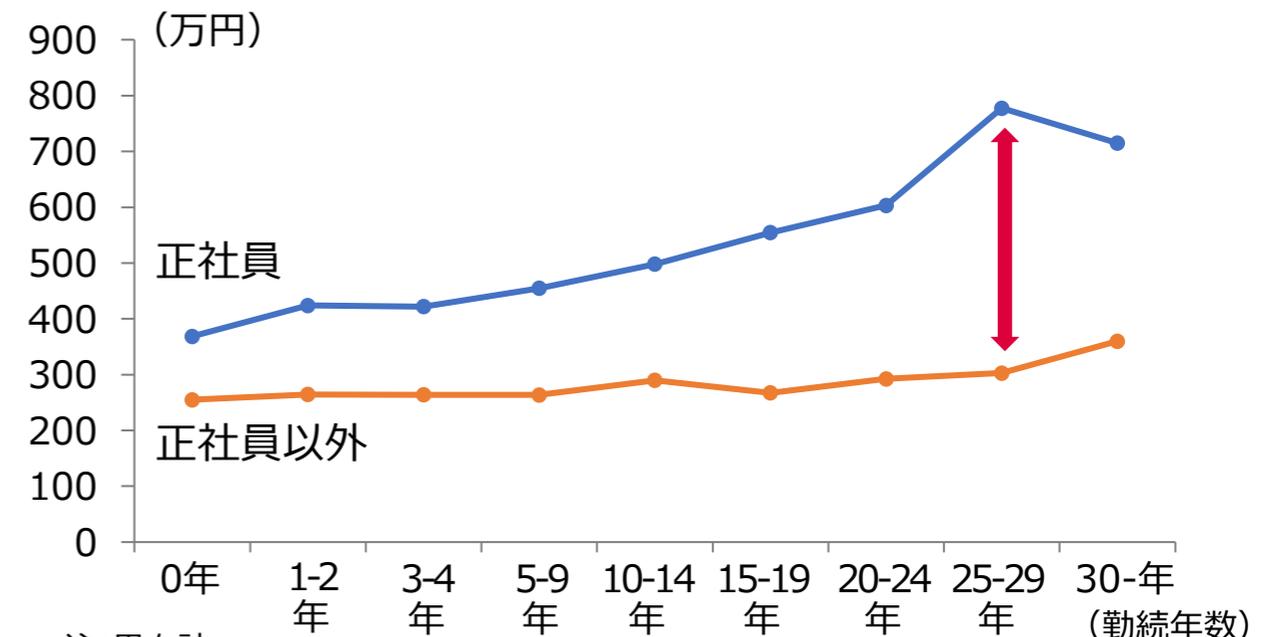
*総務省統計局「労働力調査」2020年調査結果より。非正規雇用数を正規及び非正規雇用者数で除した割合

男性の雇用形態別未婚率



出所:総務省「平成29年度就業構造基本調査」より三菱総合研究所作成

2021年時点 50~54歳の就労者の勤続年数別の平均年収



注:男女計。
出所:厚生労働省「賃金構造基本統計調査(令和3年度)」より三菱総合研究所作成

3. 打ち手

労働市場の改革と全世代型社会保障の実現を

■ 労働市場の改革:官民挙げて「人への投資」を推進

- 成果・スキルに応じた報酬制度の普及・定着
- 成長領域への円滑な人材移動(キャリアシフト・リスキリング)の促進

■ 全世代型社会保障: 「基本的な考え方」の実現徹底／「時間軸」をもって改革へ

年齢に関わりなく、その負担能力に応じて負担をし、必要に応じて給付を受ける

- 勤労者皆保険の実現:企業規模要件及び非適用業種の見直し 等
- (医療介護)受益と負担の見直し:負担能力に基づく保険料・自己負担率の設定 等

未来を問い続け、変革を先駆ける

MRI 三菱総合研究所